

豊かな生命あふれる草原を

秋吉台草原ふれあいプロジェクト 平成 21 年度（2009）報告書概要版

はじめに

西日本有数のカルスト台地秋吉台の上には、さまざまな動植物が生息・生育する広大なネザサ草原が広がっています。毎年早春の山焼きで守られているこの草原では、草を農業利用するためにさかんに草刈りが行われていました。しかし、化学肥料や化石燃料の普及とともに草の利用は少なくなり、草原は生活とは切り離されたものとなりました。現在では、山焼きで燃えにくい場所を中心にヤブ化し、また周囲から森林化がすすみ草原の面積が小さくなりつつあります。私たちは、秋吉台の草原について知り、考え、地元を応援しながら、豊かな生命あふれる草原を守っていくことをめざして活動を始めました。

活動報告

活動 2 年目の平成 21 年度は、昨年よりもさらに草丈が高く花の少なくなった草原で草刈りを行い、昨年同様、秋の開花数が 3 倍程度まで増加することを確認しました。また、昨年度の草刈り跡地で植生のモニタリングを継続し、草刈りによる開花数増加や開花および出現種数の増加といった効果が次の年にも継続することがわかりました。草原の復元地ではヤブは消滅し、外来植物が繁茂する中でもネザサの植被率が増加するなど活動の効果が確かめられています。平成 22 年も引き続き草刈りや観察会、調査活動を行いますので、多くの方のご参加をお待ちしています。



開花状況の観察



草刈り跡に多かった
アキノキリンソウ



草原の再生のため
ヤブに挑む



秋のお花畑での観察会

秋吉台草原ふれあいプロジェクト
<http://akiyoshidai.org/>

事務局：秋吉台エコ・ミュージアム
〒754-0302 山口県美祿市美東町赤
Tel&Fax:08396-2-2622
E-mail: staff@akiyoshidai.org

○ 山焼き応援プロジェクト

山焼きの延焼を防ぐための防火帯（火道）づくりをお手伝いしています。夏に草を刈った火道では、秋の草の量は刈らなかったところの4分の1程度に抑えられ、冬本番の作業が非常に楽になりました（図1）。次の年に草刈りをしなくても、草の量は3分の2くらいにしかありませんでした。また、草刈り跡ではセンブリやリンドウなどが咲く晩秋のお花畑ができました。

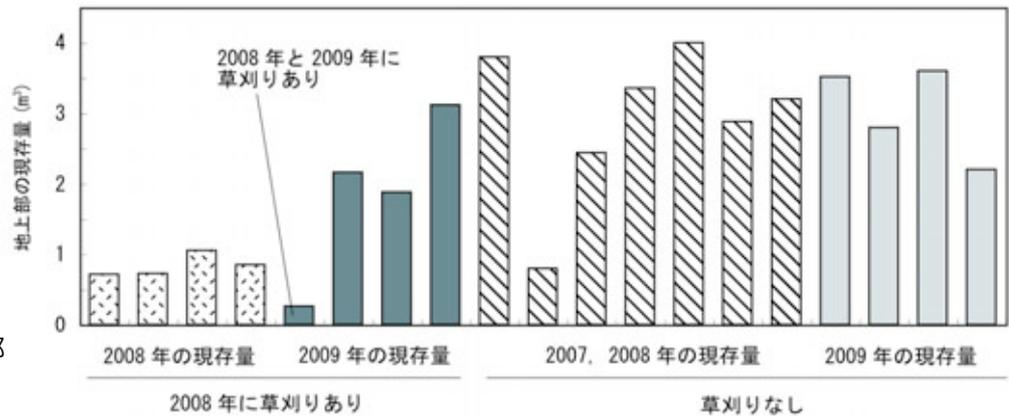


図1. 火道における草刈りと地上部現存量の関係

○ 草原の復元プロジェクト

秋吉台の重要な観光スポットである長者ヶ森の前には以前はクリ園で今はヤブになった場所があります。草原の再生のため、ヤブ刈りと山焼き後の燃え残り整備を始めました。



現在、草刈り跡では外来植物や畑地雑草が繁茂していますが、草刈りを続け刈草を除去した場所ではネザサが回復しつつあります（図2）。

ヤブがなくなった場所では山焼きの火も入りやすくなりました。

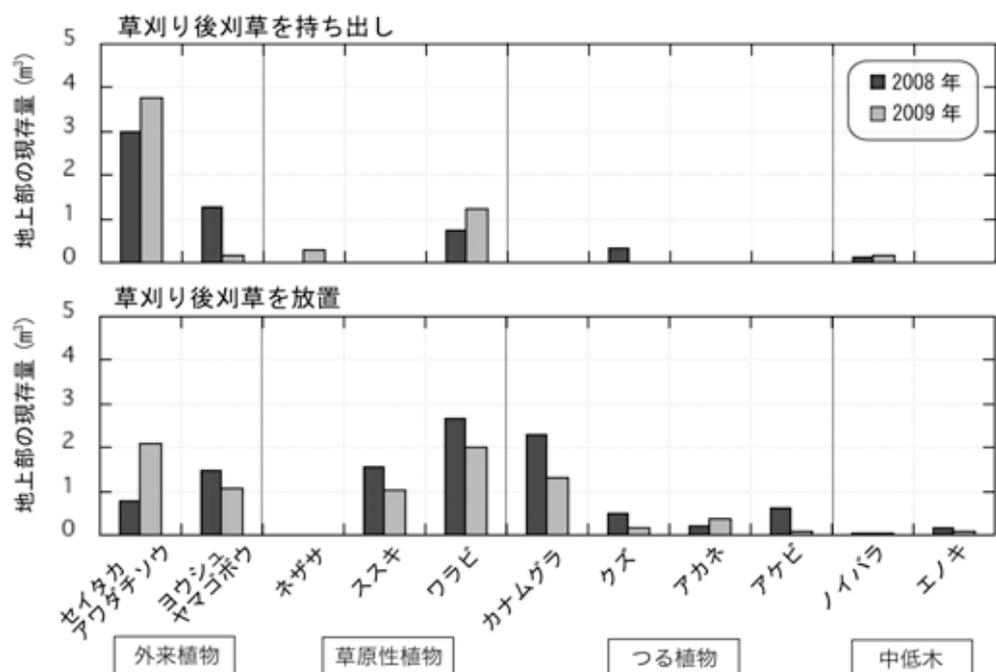


図2. 草原の復元地における各種の現存量の変化

○ お花畑プロジェクト

梅雨明けの時期に草刈りを行うことによって地表面近くまで届く光の量が増え、秋の花の数は3倍に増え、開花した種数も増えました。翌年刈らなかった場合は光の量は半減していましたが、草刈りをした年と同様に開花茎数や種数は多いままでした(図3)。

刈った草は地元のごぼうやサトイモ、梨の畑に敷いてもらったり、牧場でのエサや堆肥に使ってもらったりして、資源の循環につとめました。

秋の観察会では、草刈り跡での開花状況を確認してもらい、草原性植物が生育する環境を守る意義を説明しました。また、草を使った農産物を味わってもらい、草原は人の生活とともにあることを知ってもらいました。

オカリナ演奏を聴きながら草原でゆっくり過ごすという企画も好評でした。その後も秋のお花畑は観光ツアーなどさまざまな場面で紹介されていました。

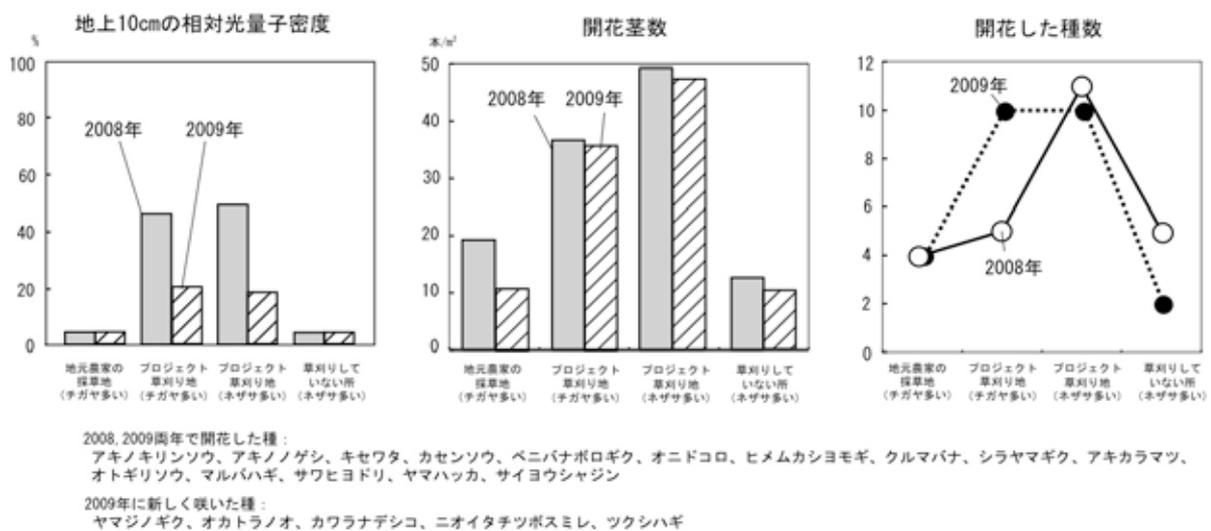


図3. 2008年における草刈りの有無と開花茎数および種数の関係



2009. 6. 13. 草刈り風景



草は地元の農家へ



ギンチク牧場にて牛のエサやり体験



2009. 10. 12. 草原でくつろぐ



草原保全シールは秋吉台の草を使った証です



地元農家の刈り跡にできたお花畑

平成 22 年度 (2010) 活動計画

平成 22 年 6 月 20 日 (日) お花畑プロジェクト 1 

問い合わせ先：秋吉台エコ・ミュージアム (08396-2-2622)
秋吉台少年自然の家 (08396-2-0581)

平成 22 年 6 月 27 日 (日) 草原の復元作業 

問い合わせ先：秋吉台エコ・ミュージアム (08396-2-2622)

平成 22 年 7 月中旬 遊歩道のお花畑づくり 

問い合わせ先：秋吉台エコ・ミュージアム (08396-2-2622)

平成 22 年 8 月 1 日 (日) ドリーネ畑周辺にお花畑づくり 

問い合わせ先：ほっとビレッジ美東 (08396-2-2285)

平成 22 年 9 月 20 日 (月・祝) お花畑プロジェクト 2 

問い合わせ先：秋吉台少年自然の家 (08396-2-0581)
□□□□□□□□□□□□□□ 08396-2-2622□

平成 22 年 9 月 26 日 (日) 草原の復元作業 2 

～セイタカアワダチソウ駆除作業～
問い合わせ先：秋吉台エコ・ミュージアム (08396-2-2622)

平成 22 年 12 月 5 日または 12 日 (日) ドリーネ畑周辺の火道切り  

問い合わせ先：ほっとビレッジ美東 (08396-2-2285)

平成 23 年 3 月 13 日 (日) 追加の山焼き 

問い合わせ先：秋吉台エコ・ミュージアム (08396-2-2622)

- 行事の問い合わせはそれぞれの機関にお願いします。
- 刈払い機を使わなくても、石灰岩のまわりの草を手鎌で刈ったり、草を運んだり、いろいろな形で参加ができます。気軽にご参加ください。

平成 21 年度 (2008) は以下の行事を行いました。

平成 21 年 6 月 13 日 (土)	お花畑プロジェクト 1	参加者 26 名
平成 21 年 6 月 27 日 (土)	お花畑プロジェクト 1	企業ボランティア 29 名
平成 21 年 7 月 11 日 (土)	草原の復元	参加者 25 名
平成 21 年 7 月 26 日 (土)	火道にお花畑づくり	雨天のため中止
平成 21 年 10 月 12 日 (月・祝)	お花畑プロジェクト 2	参加者 44 名
平成 21 年 12 月 6 日 (土)	火道切り	参加者 10 名
平成 22 年 3 月 14 日 (土)	追加の山焼き	積雪のため中止
(平成 22 年 3 月 22 日 (月・休))	燃え残り整備	参加者は有志 12 名)